

常任委員会の動き ○審査概要・活動

総務文教 常任委員会

1 議案 可決
1 請願 不採択

○令和5年度行田市一般会計
補正予算

債務負担行為補正

問 若者移住促進事業に関し、周知方法について。

答 本事業は、学校を卒業し、新生活に向け新たな移住先を検討している若者の移住に特化した事業を新たに実施するもので、SNSや近隣のものづくり大学、進修館高校、テクノ・ホルティ専門学校など、学生がいるところへの周知と、令和6年1月に都内で開催される移住フェアでのチラシの配布や、プレスリリース配信サービスを利用して発信していく。

問 市制施行75周年記念事業実行委員会交付金500万円の積算根拠について。

答 市民提案事業として、上限100万円の5団体を見込

んでいる。

問 小学校水泳授業委託に関し、水泳授業の実施時期は。

答 学期を問わず、1学期から3学期において実施する予定であり、詳細については、各学校と調整していく。



建設環境 常任委員会

2 議案 可決
1 請願 不採択

○令和5年度行田市一般会計
補正予算

小動物火葬棟整備事業

問 斎場運営費で調査測量設計委託料を計上しているが、現時点で、どのような小動物火葬棟をイメージしているの

か。

答 小動物専用の火葬炉のほか、利用者の待合室、お別れの場を兼ねた収骨室、トイレ、作業員の控室兼倉庫を予定している。また、場所については、斎場敷地内西側の職員駐車場に建物を整備する予定である。

行田市駅跨線橋修繕事業

問 橋のよう修繕事業負担金として、秩父鉄道行田市駅の跨線橋修繕に対する予算を追加計上しているが、不足額の総額はどれくらいになるのか。また、不足額の負担割合はどれくらいか。

答 本事業では、当初、1億5千万円を予算措置していたが、人件費や資材価格の高騰により、2644万円の不足が見込まれている。なお、協定により本市が全額負担する。



秩父鉄道行田市駅跨線橋

健康福祉 常任委員会

7 議案 可決
1 請願 不採択

○行田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 本改正による国民健康保険税の税率引上げの対象となる世帯数は。

答 現在、国民健康保険に加入している約1万1千世帯が対象となる。

問 国民健康保険税の税率引上げについては、市民を交えて十分に検討したのか。

答 本市の国民健康保険事業の運営に関する重要事項として、国民健康保険運営協議会において審議し、今回の方針を定めたものである。
問 どのように周知していくのか。

答 市報やホームページ等を活用して、市民の皆様にご覧いただき、市民の皆様にご覧いただき、かつ速やかに周知していく。

○行田市子ども未来基金条例

問 本市の未来を担う子どもの支援に必要な財源を安定的に確保するために基金を創設することだが、具体的な事業計画等はあるのか。

答 今後の予算編成の中で、基金の目的に沿った具体的な事業を検討していく。

問 基金を創設しなければならぬ理由は。

答 基金を創設することで、本市が今後も継続して子どもへの支援に取り組むことを、対外的に示すことができるものと考えている。

○令和5年度行田市一般会計
補正予算

問 子ども未来基金条例の制定に伴う、子ども未来基金積立金は5億円を上限とする認識でよいか。

答 現時点で上限等は決まっておらず、一般会計予算を優先して事業を行い、不足が生じた場合に基金を活用していく。その際、基金の不足分を補つか否かは、今後の財政状況等を勘案し検討していく。

